

## 令和1年度 地域貢献活動支援報告書

地域イノベーション推進機構長 殿

所 属 地域創生戦略企画室  
氏 名 アヴシヤル 恵利子

活動テーマ	津市栗真町屋地区における耕作放棄地解消のための産学官連携プロジェクトの推進
実施期間	平成31年4月1日 ～ 令和2年3月31日
活動内容	<p>(1) 具体的な活動実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 荒廃農地整備事業の先進事例調査（令和2年1月20日視察）【写真①】</li> <li>・ 産学官による協議会（栗真町屋地区耕作放棄地の再生に関する協議会）の開催（5月、6月、7月、8月、10月、12月、1月）【写真②】</li> <li>・ 農地、地権者へのアンケート調査及び地図データベースの作成</li> <li>・ モデル地区における土壌調査及び作物試験栽培（教員、学部生、サークルによるほ場の活用）【写真③】</li> </ul> <p>(2) 地域への貢献（地域の発展・活性化への寄与，広がり） モデル地区を整備し、三重大学との連携を具体的に推進するための地元協議会（町屋地区荒廃農地対策協議会）が発足し、地権者へのアンケート調査等を円滑に行うことができた。さらに、学生と地元住民との意見交換会や町屋百人衆・巨大龍踊り（地元の祭り）に学生が参加するなど、本プロジェクトをきっかけに三重大学が所在する地元・栗真町屋町との密な繋がりが形成されつつある。【写真④】</p> <p>(3) 共同実施者との連携状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 津市：地元協議会、三重県、JA等の組織との連絡調整、国・県・市の制度等の情報提供を行っていただいた。</li> <li>・ 地元協議会：先進地視察研修会の開催、アンケート調査について自治会・地権者との連絡調整を行っていただいた。</li> <li>・ 学内共同実施者：モデル地区での土壌調査、作物試験栽培等のプロジェクトを企画・推進していただいた。</li> </ul> <p>(4) 大学の教育・研究成果のかかわり 農地及び地権者へのアンケート調査及び地図データベース化は生物資源学部学生の卒業論文研究として実施された。モデル地区においては、学生サークルによるスイカ、トマト、バジル、ネギ等の作物の試験栽培が行われた。さらに、ヒマワリ、コスモス、トウモロコシ等のエネルギー作物を栽培し、エネルギーポテンシャルの分析研究が行われた。本研究成果は、「第8回生物資源学研究科オープンラボ」のポスターセッションにて、修士学生によって発表された。（令和1年9月27日）</p> <p>(5) イベント等開催実績（名称，実施場所，参加人数等） 令和2年3月19日に開催される津市自治会連合会視察研修会にて本プ</p>

プロジェクトの取組みを紹介する予定である。(実施場所：三重大学環境・情報科学館)

(6) これまでの取組みによって得られた具体的な成果について

三重大学定例記者懇談会(令和1年7月25日)にて本プロジェクトを紹介し、県内での認知度が上昇した。地権者へのアンケート調査実施を受け、地元協議会では「人・農地プラン」の作成に着手する等の耕作放棄地対策に向けて具体的な動きが進められた。



写真①田原市視察研修の様子



写真②産学官による協議会の様子





写真③モデル地区耕耘の様子



写真 ④④意見交換会（上）と巨大龍踊り（下）の様子